



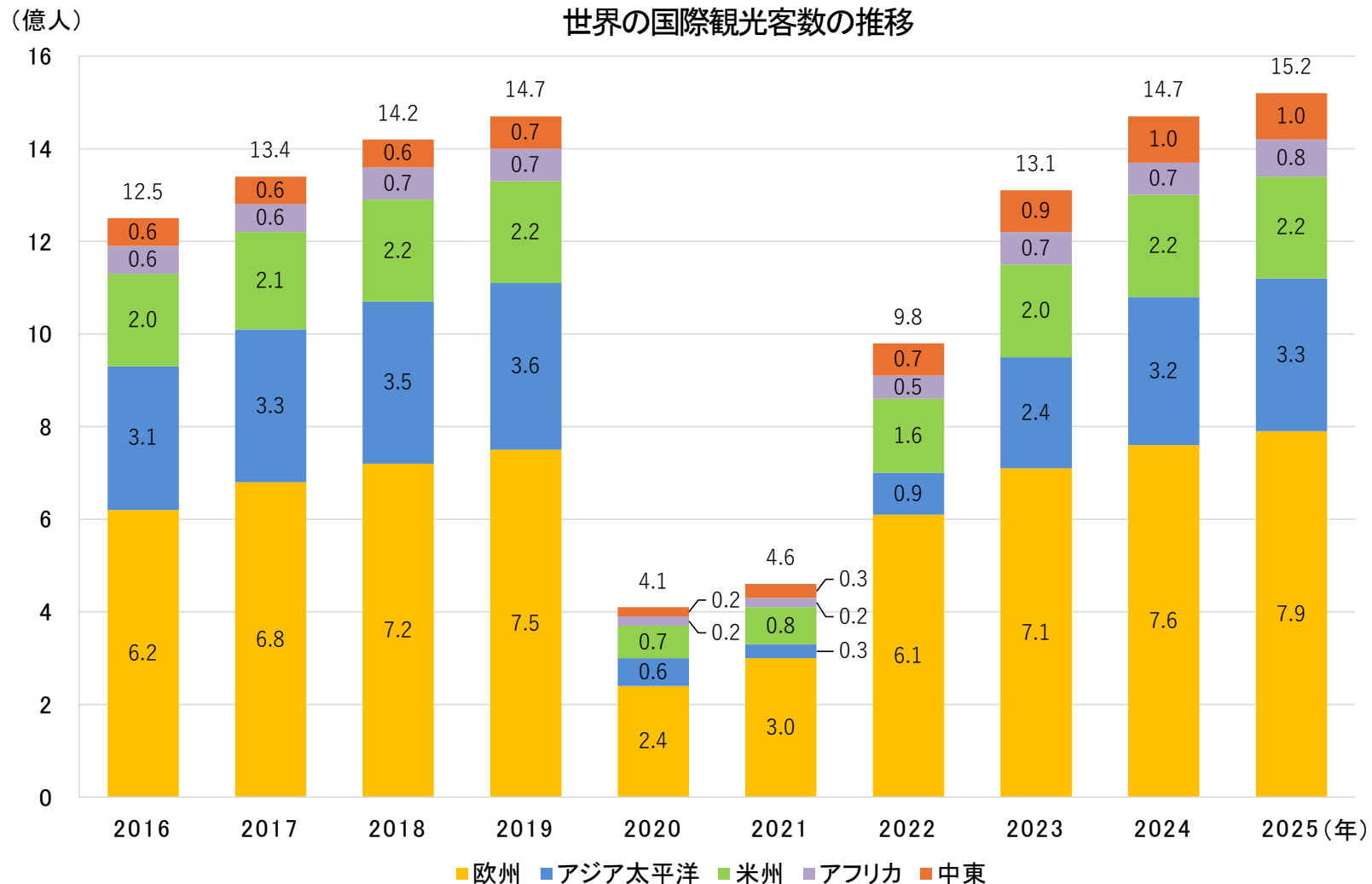
国際観光都市の実現に向けて

- I 世界の観光の動向…………… 2ページ
- II 日本の観光の動向…………… 5ページ
- III 愛知県の観光の動向と取組…………… 8ページ
- IV 愛知県の当面する課題…………… 18ページ
- V 国際観光都市の実現に向けて…………… 24ページ



I 世界の観光の動向①（国際観光客数）

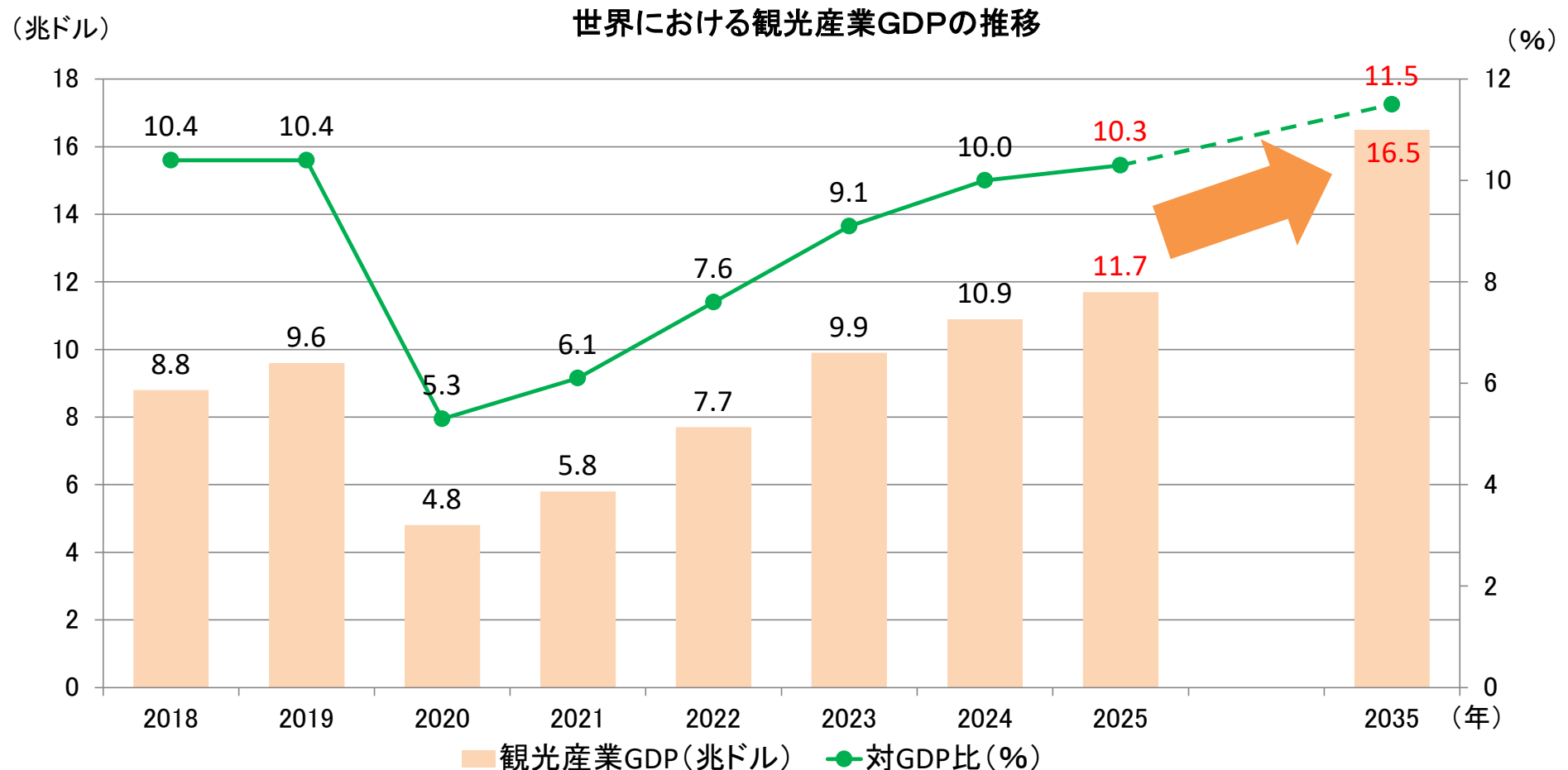
○ 2025年の世界全体の国際観光客数は15億2,000万人であり、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年(14億6,800万人)を上回り、今後も増加が見込まれる。



出典：世界観光機関(UN Tourism)「Tourism Dashboard」(2026年1月時点)に基づき愛知県作成

I 世界の観光の動向②（観光産業の規模）

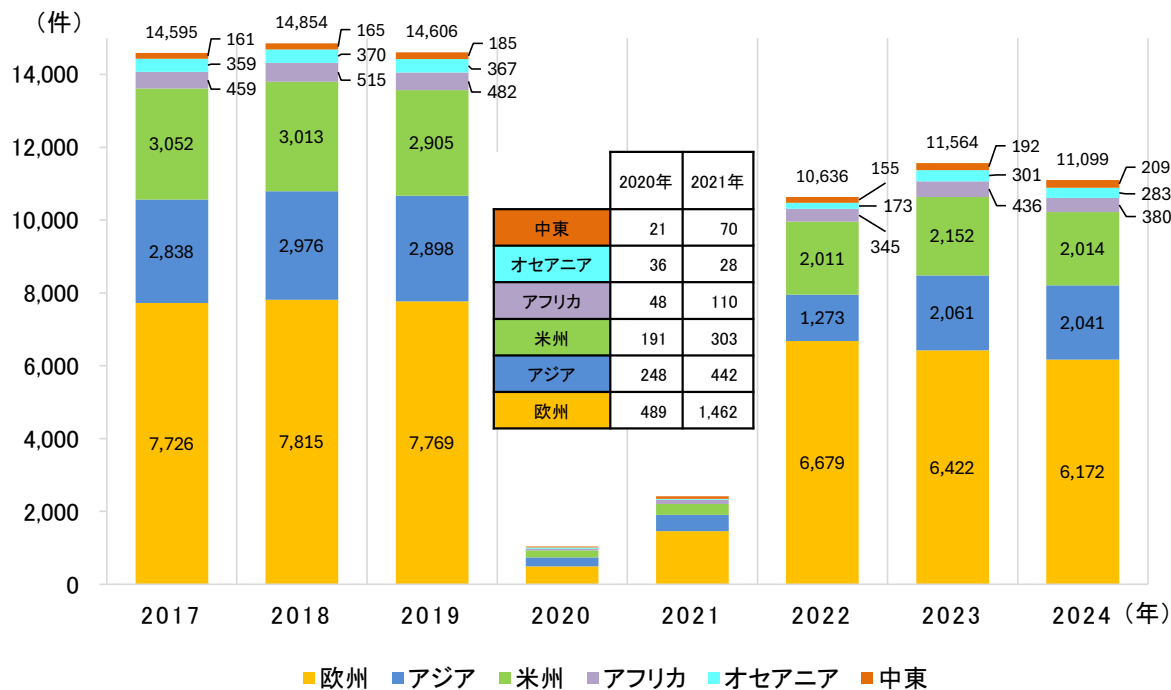
- **世界経済における観光産業の規模**は、2024年には10.9兆ドル（対GDP比10.0%）に上り、2025年には11.7兆ドル（対GDP比10.3%）に達する見込である。
- **今後も増加が予想**されており、2035年には16.5兆ドル（対GDP比11.5%）に達する見込となっている。



I 世界の観光の動向③（国際会議開催件数）

- 2024年の世界の国際会議開催件数は、コロナ前の2019年の76%まで回復している。アジアは2019年比では70%に留まっているものの、2022年比で160%と急速に回復している。
- 2024年のアジア・オセアニア域内における国際会議開催件数は日本が最も多い。

世界及び地域別の国際会議開催件数の推移



出典：日本政府観光局「2024年国際会議統計」に基づき愛知県作成

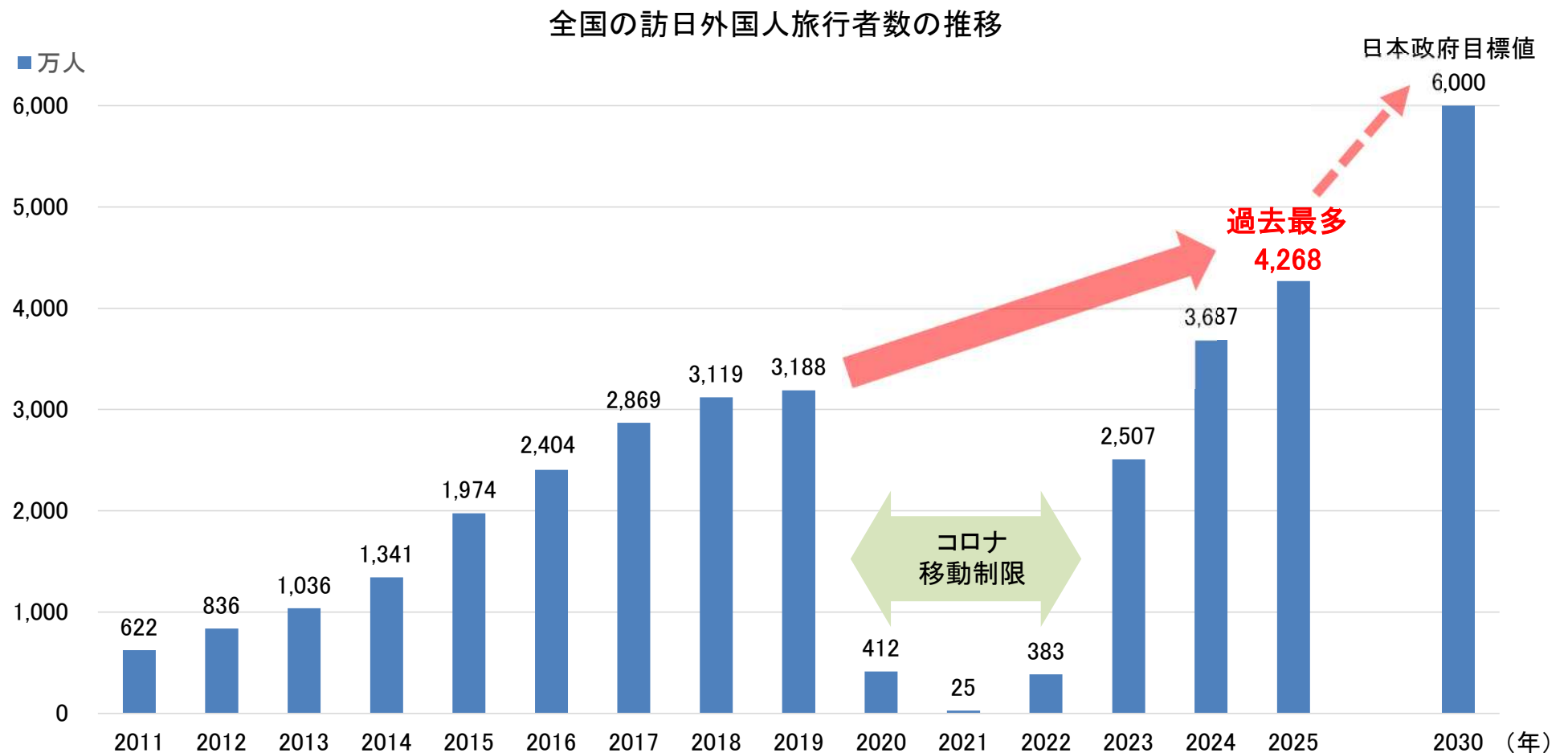
アジア・オセアニア域内における
国際会議開催件数(2024年) (件)

順位	国・地域	2024年	(参考)2019年
1	<u>日本</u>	428	558
2	中国	249	572
3	韓国	243	271
4	オーストラリア	227	290
5	タイ	158	183
6	シンガポール	144	157
7	インド	141	173
8	台湾	133	176
9	マレーシア	129	156
10	インドネシア	98	109

出典：日本政府観光局「2024年国際会議統計」に基づき
愛知県作成

Ⅱ 日本の観光の動向①（訪日外国人旅行者数）

○ コロナの移動制限で落ち込んだ全国の**訪日外国人旅行者数**は、制限緩和により回復し、2025年は**過去最多**となっている。

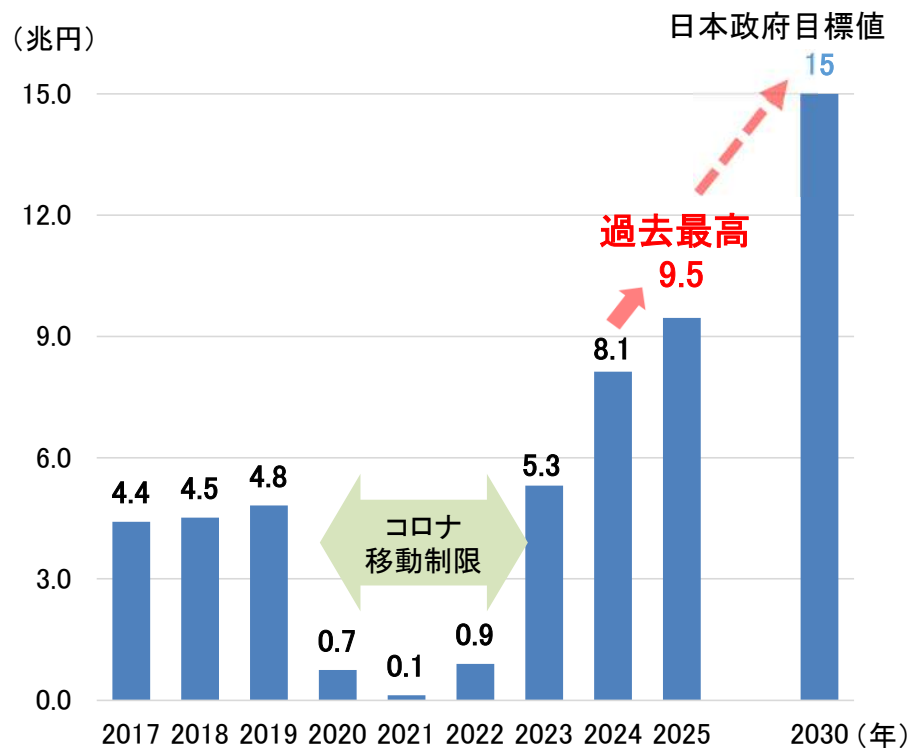


出典：日本政府観光局「訪日外客統計 時系列推移表」に基づき愛知県作成

Ⅱ 日本の観光の動向②（訪日外国人旅行者の旅行消費額）

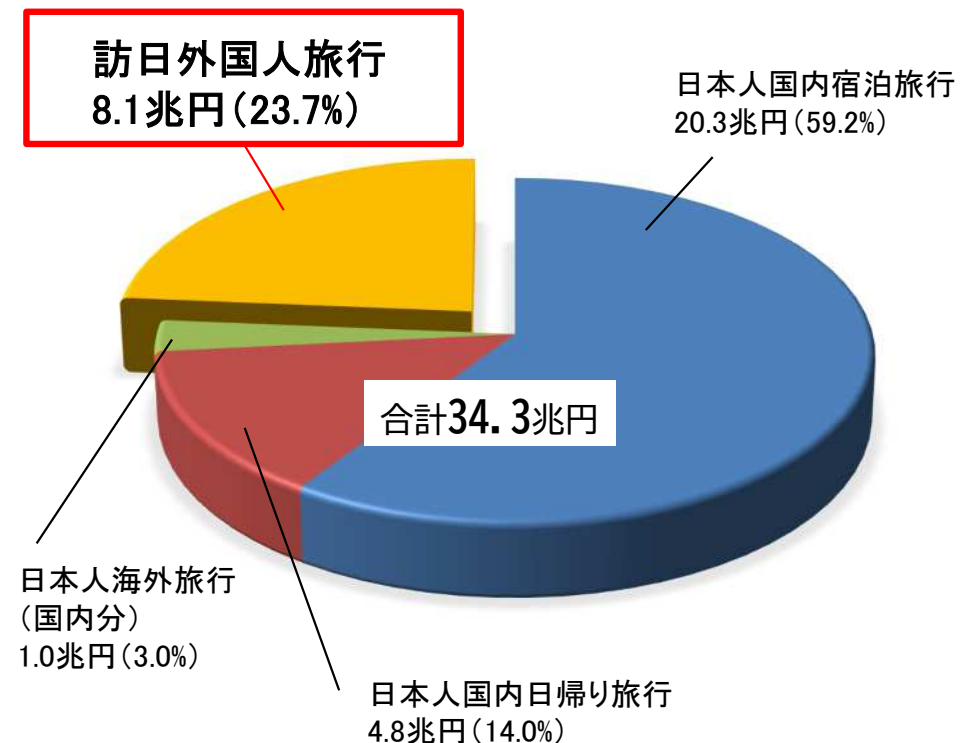
- 2025年の全国の訪日外国人旅行者の旅行消費額は9.5兆円に上り、2024年に続き過去最高を更新した。
- 2024年の訪日外国人旅行者の旅行消費額は、全国の旅行消費額全体の23.7%を占めている。

訪日外国人旅行者による消費額の推移



出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」（2018年～2025年）
に基づき愛知県作成（2025年は速報値）

全国の旅行消費額（2024年）の内訳



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」（2024年）

Ⅱ 日本の観光の動向③（都市の魅力）

- 大手旅行雑誌『コンデナスト・トラベラー』が2025年10月に発表した読者投票ランキング「リーダーズ・チョイス・アワード」の米国版において、「世界で最も魅力的な国」として日本は3年連続で1位に選出、「世界で最も魅力的な大都市」では東京が1位（2年連続）、京都が2位（2024年はランク外）に選出された。
- また、国際的な市場調査会社「ユーロモニターインターナショナル」が2025年12月に発表した『2025年トップ100都市デスティネーション・インデックス』では、東京（3位）、大阪（11位）、京都（19位）、札幌（50位）、福岡（64位）がランクインしたが、愛知県内の都市はランク外。

リーダーズ・チョイス・アワード2025（米国版）

世界で最も魅力的な国		世界で最も魅力的な大都市	
1位	日本	1位	東京
2位	ギリシャ	2位	京都
3位	ポルトガル	3位	ケープタウン
4位	イタリア	4位	シンガポール
5位	スペイン	5位	ソウル
6位	トルコ	6位	パリ
7位	アイルランド	7位	バンクーバー
8位	クロアチア	8位	エディンバラ
9位	フランス	9位	モントリオール
10位	カナダ	10位	プノンペン

出典：コンデナスト「コンデナスト・トラベラー」（2025年10月）

2025年トップ100都市デスティネーション・インデックス

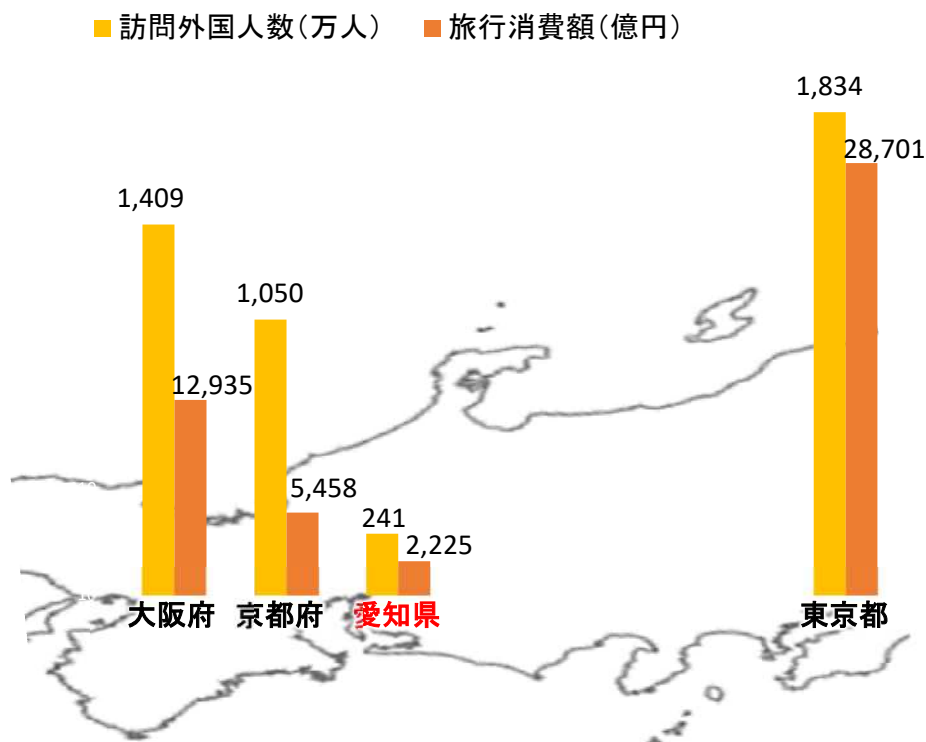
1位	パリ
2位	マドリード
3位	東京
4位	ローマ
5位	ミラノ
6位	ニューヨーク
7位	アムステルダム
⋮	
11位	大阪
19位	京都
50位	札幌
64位	福岡

出典：ユーロモニターインターナショナル「2025年トップ100都市デスティネーション・インデックス」（2025年12月）

Ⅲ 愛知県の観光の動向と取組①（外国人旅行者の状況）

- 2024年の**本県の訪問外国人旅行者数**は約241万人、**旅行消費額**は約2,225億円となっており、東京や大阪、京都といった**主要都市に比べて低い数値**となっている。
- 2024年の**本県の外国人延べ宿泊者数**は約391万人泊であり、東京や大阪、京都といった**主要都市に比べて、コロナ前(2019年)からの増加幅は極めて小さい**。

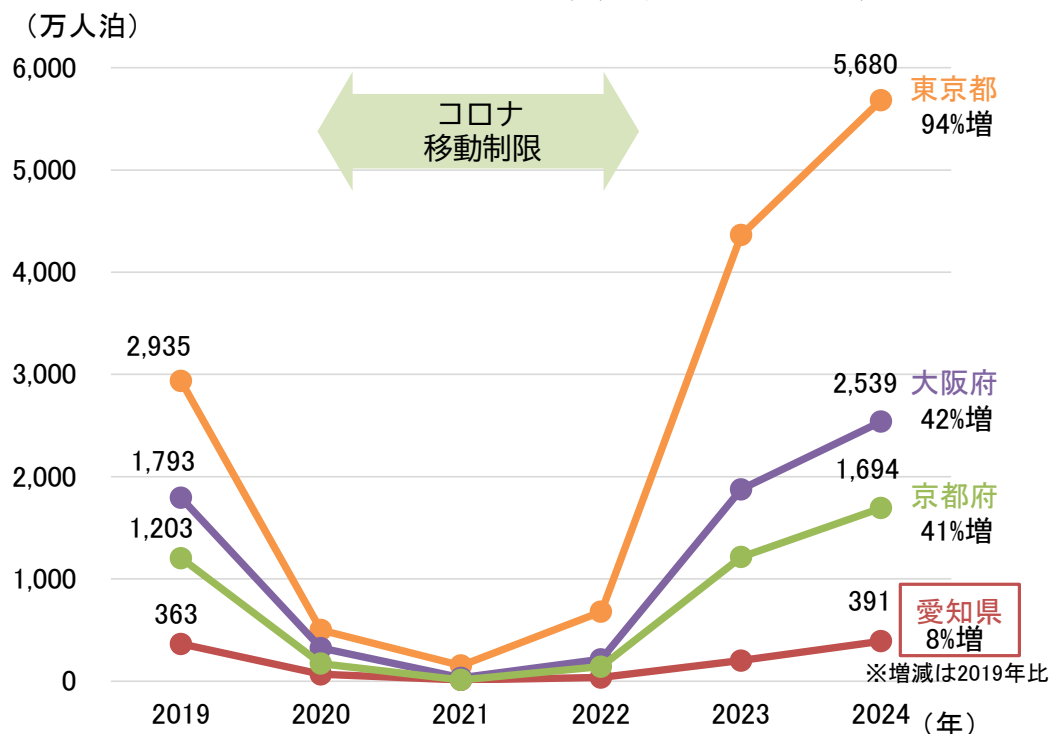
訪問外国人数及び旅行消費額(2024年)



出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」(2024年)に基づき愛知県作成

外国人延べ宿泊者数

※延べ宿泊者数は、宿泊した人の宿泊数の合計

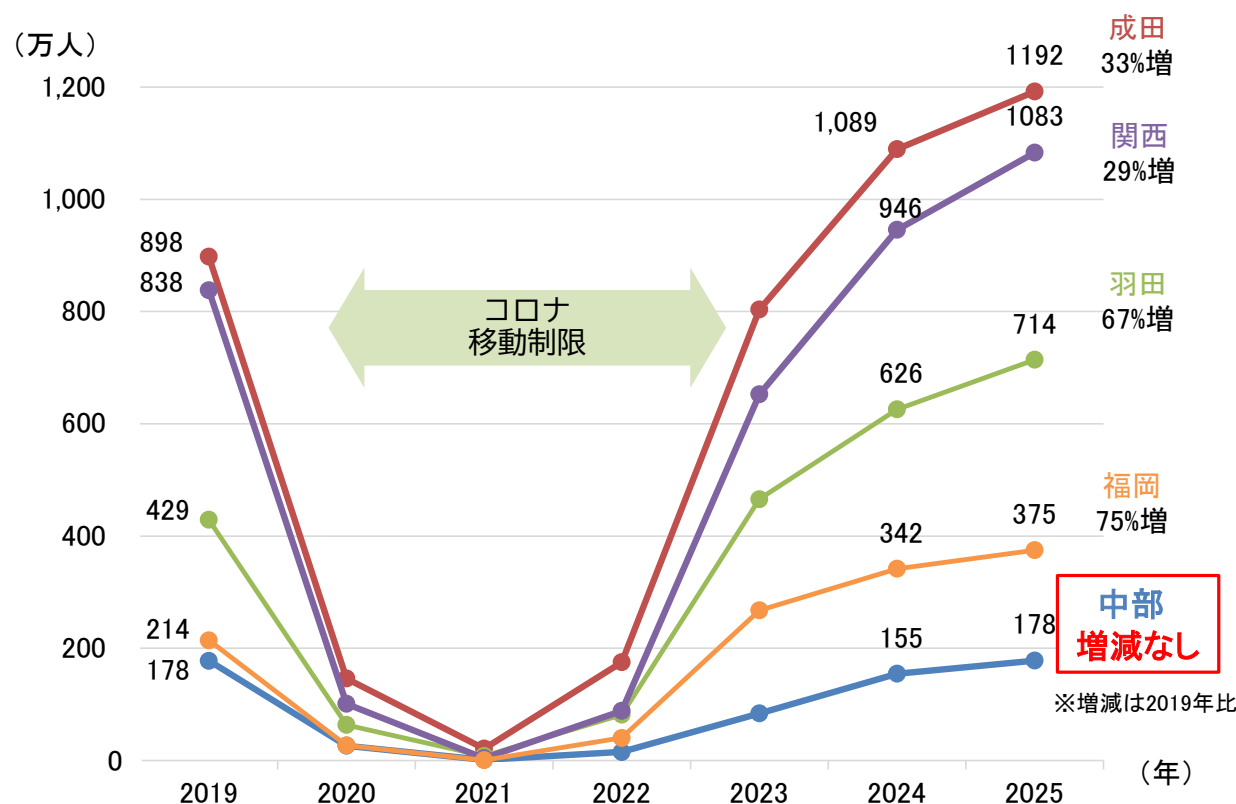


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」(2019年-2024年)に基づき愛知県作成

Ⅲ 愛知県の観光の動向と取組②（空港別入国外国人数）

- 2025年の中部国際空港の入国外国人数は約178万人であり、コロナ前まで回復した一方、東京・大阪等の他の大都市圏の主要空港と比べて、大きく水をあけられている。
- 国際線の就航便数・都市数についても大きな差がある。

空港別入国外国人数の推移



国内の主要空港の国際線就航便数ランキング
(2025年冬期ダイヤ)

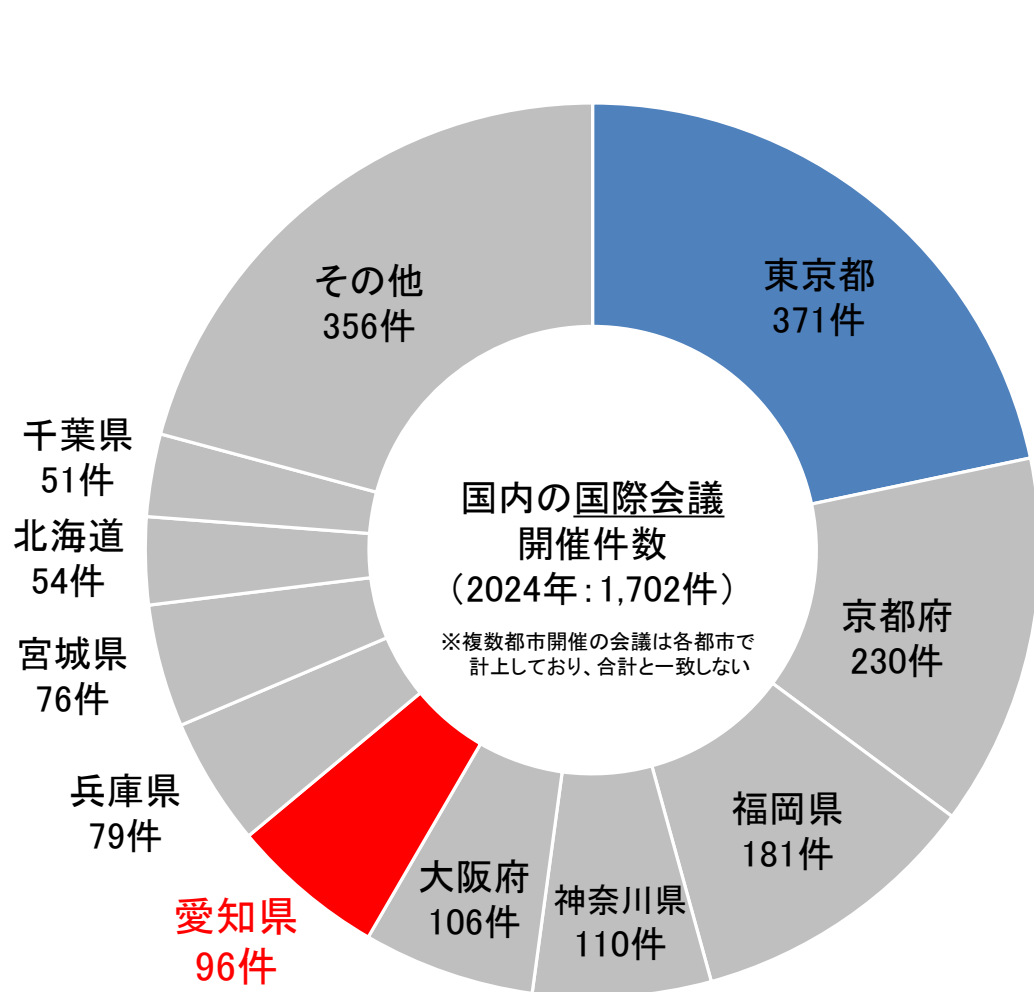
	空港名	便数(／週)	都市数
1	成田国際空港	1,603	91
2	関西国際空港	1,440	44
3	羽田空港	1,104	47
4	福岡空港	458	16
5	中部国際空港	308	18
6	那覇空港	237	12
7	新千歳空港	206	14

出典：便数は国土交通省「国際線就航状況」（2025年冬期）、都市数はフジインコーポレーテッド「フジ エアウェイズ ガイド 2026年2月号」に基づき愛知県作成

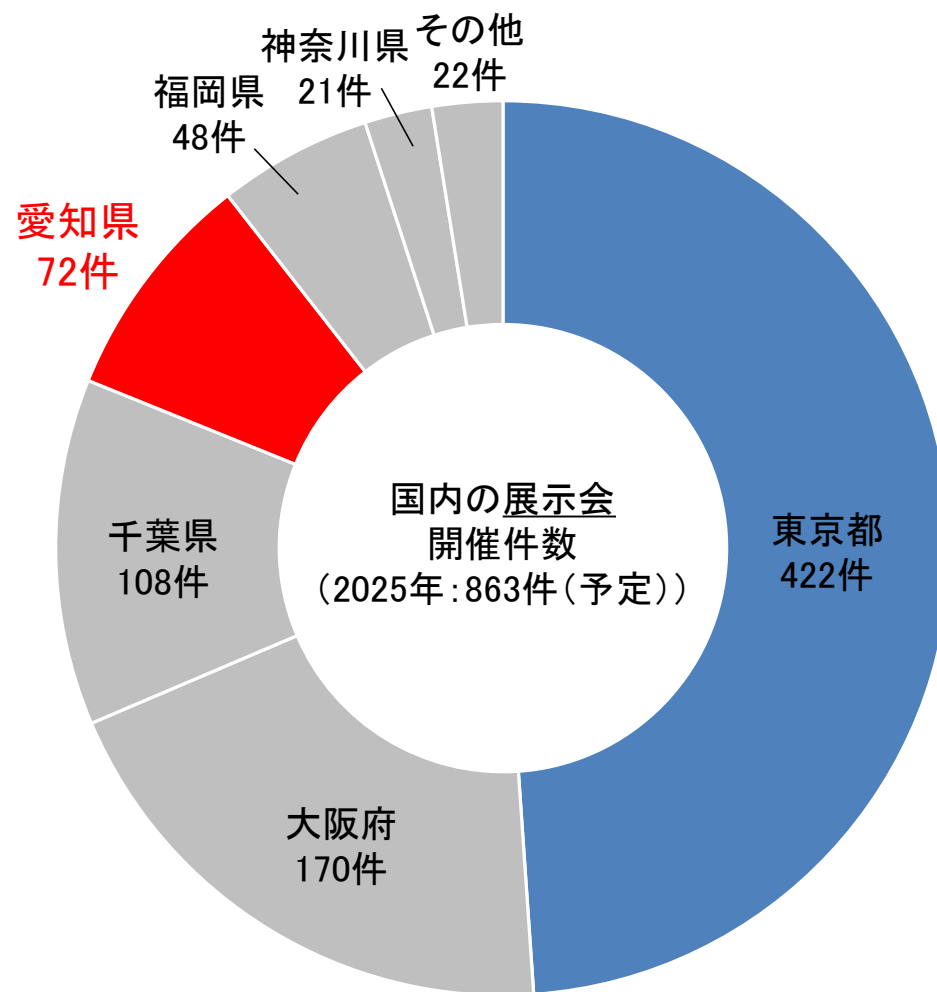
出典：出入国在留管理庁「出入国管理統計」（2019年-2025年）に基づき愛知県作成
※2025年12月の数値は速報値

Ⅲ 愛知県の観光の動向と取組③（MICEの開催状況）

○ 国内での国際会議、展示会開催件数は東京都が最も多く、愛知県のシェアは一部に留まっている。



出典：日本政府観光局「2024年国際会議統計」に基づき愛知県作成



出典：株式会社ピーオーピー「2026年版展示会データベース」
に基づき愛知県作成

Ⅲ 愛知県の観光の動向と取組④（観光振興）

- 国内外から本県への誘客を促すため、本県では**歴史・武将、山車、発酵食文化等の魅力ある地域資源を観光コンテンツとして活用**し、情報発信などを行っている。

観光コンテンツとして地域資源の活用、文化芸術の発信

○歴史・武将

- ・あいちの歴史観光推進協議会を設立(2024.2.16)
「武将」「お城」「街道」の魅力発信、歴史観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーの開催、「にっぽん城まつり」の開催
- ・「サムライ・ニンジャ フェスティバル」の開催
- ・徳川家康と服部半蔵忍者隊による「武将のふるさと愛知」のPR



○発酵食文化

- ・愛知「発酵食文化」振興協議会を設置(2024.5.1)
- ・発酵食文化の情報発信・体験型旅行商品の創出等



○山車

- ・ユネスコ“無形文化遺産”「山・鉾・屋台行事」(37件)に愛知県は全国最多の5件(2016.12.1登録決定)
- ・「山車日本一あいち」を宣言し、山車文化の魅力を広く発信



○芸術

- ・国際芸術祭「あいち2025」を開催(2025.9.13-11.30)
- ・国内最大規模の国際芸術祭の1つであり、2025年で6回目

PR・プロモーション

○公式観光サイト「Aichi Now」

- ・愛知県の観光スポット、イベント、旬な特集などを多言語で発信



○ジブリパークのある愛知への旅

- ・特設Webサイトにより観光プログラム等を紹介
- ・スタジオジブリの制作の動画「風になって、遊ぼう。」等による観光PR



Ⅲ 愛知県の観光の動向と取組⑤（MICEの誘致・開催）

- 全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成など、**地域一丸となってMICE誘致を推進**するとともに、国際会議の開催等に必須となる**高級ホテルの立地促進**にも取り組んでいる。

愛知県で開催予定のMICE

○FIA世界ラリー選手権ラリージャパン

- ・ラリー最高峰に位置する世界選手権の1戦を愛知・岐阜で開催(2025.11.6-11.9)
- ・観戦者数530,600人(2025年実績)



©Rally Japan

○ISUグランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会愛知・名古屋2025

- ・国際スケート連盟主催の世界トップ選手によるフィギュアスケート競技会を開催(2025.12.4-12.7)
- ・愛知県での開催は2017年以来2回目



会場:IGアリーナ

○マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2026

- ・世界最大の女子マラソンである「名古屋ウィメンズマラソン」、「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン」、「名古屋シティマラソン」を開催(2026.3.6-3.8)
- ・出走者数は27,180人(2025年の全大会の合計)



©名古屋ウィメンズマラソン

○第60回アジア開発銀行年次総会

- ・愛知・名古屋で開催(2027.5.2-5.5)
- ・アジア開発銀行に加盟する国・地域の財務大臣及び中央銀行総裁等が出席し、例年3,000~5,000人程度が参加

○2028年技能五輪国際大会

- ・原則22歳以下の青年技能者を対象とした世界レベルの技能競技大会を愛知で開催(2028.11.15-11.20)
- ・65か国・地域以上、約5,300人(うち選手1,700人)が参加予定
- ・日本での開催は21年ぶり4回目



2024年9月のWSI総会で加盟国・地域の投票により、開催地が日本・愛知に決定

MICE の誘致・開催に向けた取組

○MICE誘致の取組推進

- ・「愛知・名古屋MICE推進協議会(2015.4設立)」による地域一丸となったMICE誘致の取組推進

○高級ホテルの立地促進

- ・国際会議や海外富裕層旅行者の誘致に資する高級ホテルの立地促進のため、名古屋市と連携して補助事業を実施
- ・これまでに3つのホテルの誘致に成功



TIAD, オートグラフコレクション
(2023.7開業)



エスパシオ ナゴヤキャッスル
(2025.10開業)



コンラッド名古屋
(2026.夏開業予定)

Ⅲ 愛知県の観光の動向と取組⑥（アジア・アジアパラ競技大会）

- 2026年、アジア最大のスポーツの祭典である**アジア競技大会、アジアパラ競技大会を愛知・名古屋で開催**する。

第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)

- 4年に一度開催されるアジア最大のスポーツの祭典
- OCA(アジア・オリンピック評議会)主催で、加盟する45の国と地域が参加

【大会の概要】

■大会会期 2026年9月19日(土)～10月4日(日)[16日間]

■参加者数 選手団(選手・チーム役員)
最大15,000人

■実施競技 41競技

■競技会場
愛知県内を中心に
県外の既存施設を含め
53会場を仮決定



第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)

- APC(アジアパラリンピック委員会)主催で、加盟する45の国と地域が参加する、アジア地域におけるパラスポーツの総合競技大会
- 日本では初めての開催

【大会の概要】

■大会会期 2026年10月18日(日)～10月24日(土)[7日間]

■参加者数 選手団(選手・チーム役員)
3,600人～4,000人

■実施競技 18競技

■競技会場
第20回アジア競技大会
(2026/愛知・名古屋)の会場
を中心に、19会場を仮決定



中日新聞社提供

杭州アジア競技大会閉会式での
大会旗引き継ぎの様子



第20回アジア競技大会 1年前イベント
セレモニーの様子



中日新聞社提供

杭州アジアパラ競技大会閉会式
での大会旗引き継ぎの様子



第5回アジアパラ競技大会 1年前イベント
セレモニーの様子

Ⅲ 愛知県の観光の動向と取組⑦（官民連携による新たな施設）

- 加えて、本県の国際的な知名度を高め、魅力を向上させるため、Aichi Sky Expo、ジブリパーク、STATION Ai、IGアリーナなど、**世界に誇れる多様な施設を官民連携により創出した。**



リニア中央新幹線の開業を見据え
名古屋駅のスーパーターミナル化を
推進

愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）



2019年8月開業
日本初の国際空港直結型の国際展示場
展示スペース60,000㎡を活用した展示会・イベントを開催

IGアリーナ



©AIA corporation ※画像はイメージです。

2025年7月グランドオープン
世界トップレベルのグローバルアリーナ
大相撲名古屋場所や国内外のスポーツ・
音楽イベントを開催

ジブリパーク



©Studio Ghibli

2022年11月開園
スタジオジブリ作品の世界観を表現する
公園施設を愛・地球博記念公園に整備

STATION Ai



2024年10月開業
日本最大のスタートアップ支援拠点
8カ国20スタートアップ支援機関・大学と連携

愛知芸術文化センターの コンセッション

2027年4月コンセッション
方式導入
建物管理及び芸術劇場
（大ホール、コンサート
ホール、小ホール等）の
運営権を民間に開放



Ⅲ 愛知県の観光の動向と取組⑧(中部国際空港エリアー1)

○ 特に、中部国際空港エリアでは、Aichi Sky Expoが2019年にオープンし、多様な産業展示会や競技会、コンサートなどのイベントが多数開催されている。

Aichi Sky Expo 概要

- ・日本最大級の展示面積 60,000m²(展示ホールA～F 各10,000m²)
- ・日本初の国際空港直結型展示場(中部国際空港から徒歩約5分)
- ・日本唯一の常設保税展示場
- ・会議やセミナー、控室等幅広い用途に利用可能な会議室(18室、合計2,110m²)

主な開催催事

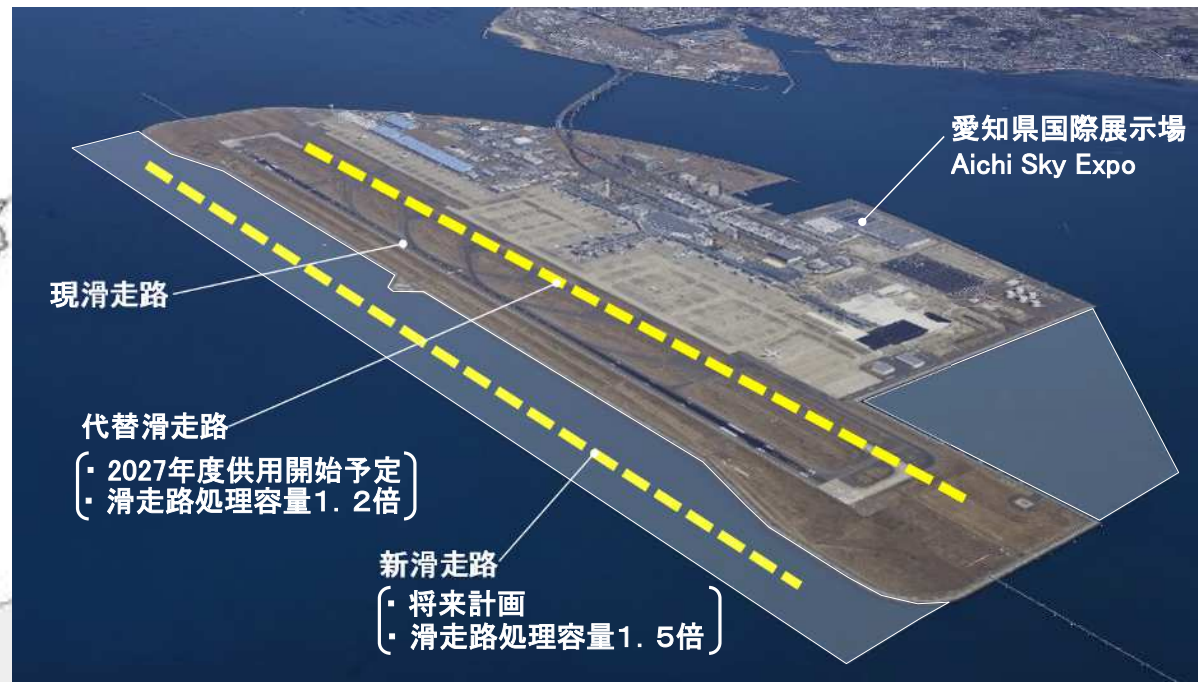
開催年月	催事名	催事内容
2024年3月	SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE	BtoB展示会
2024年7月	ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024	BtoB展示会
2024年7月	スキマフェス	コンサート
2025年4月	第4回名古屋モーターサイクルショー	BtoCイベント
2025年6月	AXIA EXPO 2025	BtoB展示会
2025年9月	ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸	BtoB展示会
2025年10月	第63回技能五輪全国大会・第45回全国アビリンピック	競技会
2025年11月	FIELDSTYLE EXPO 2025	BtoCイベント



SMART MANUFACTURING
SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE

Ⅲ 愛知県の観光の動向と取組⑨（中部国際空港エリアー2）

- 中部国際空港では**代替滑走路の整備**が進められ、完成後は空港の完全24時間運用が実現し、**更なる利用客の増加**が見込まれる。
- 空港島は国内外からの**アクセス利便性に優れ**、基本的なインフラが整備済みである。



- ◆ アジアを中心とする海外、国内主要都市からのアクセスは抜群
- ◆ 名古屋市内から車で約30分（有料道路利用）
- ◆ 名古屋駅から電車による乗換なしのダイレクトアクセスで28分
- ◆ 市街地から物理的に隔離（島内は居住者なし）
- ◆ 電気、水道、ガス等の基本的なインフラは整備済み

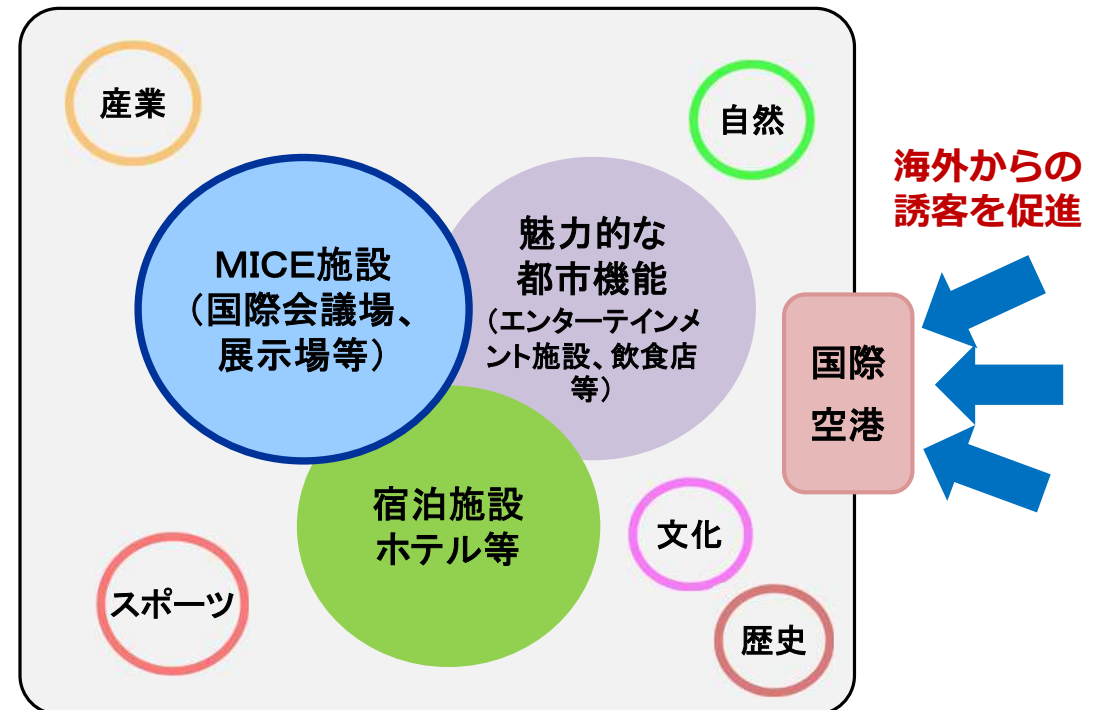
Ⅲ 愛知県の観光の動向と取組⑩（中部国際空港エリアー3）

- 世界中から人々やMICEを呼び込み、かつ県内各地へ送客する拠点として、**中部国際空港及びその周辺エリア**において、「**MICEを核とした国際観光都市**」の実現を目指し、**調査研究**を進めている。

＜中部国際空港及びその周辺エリア＞

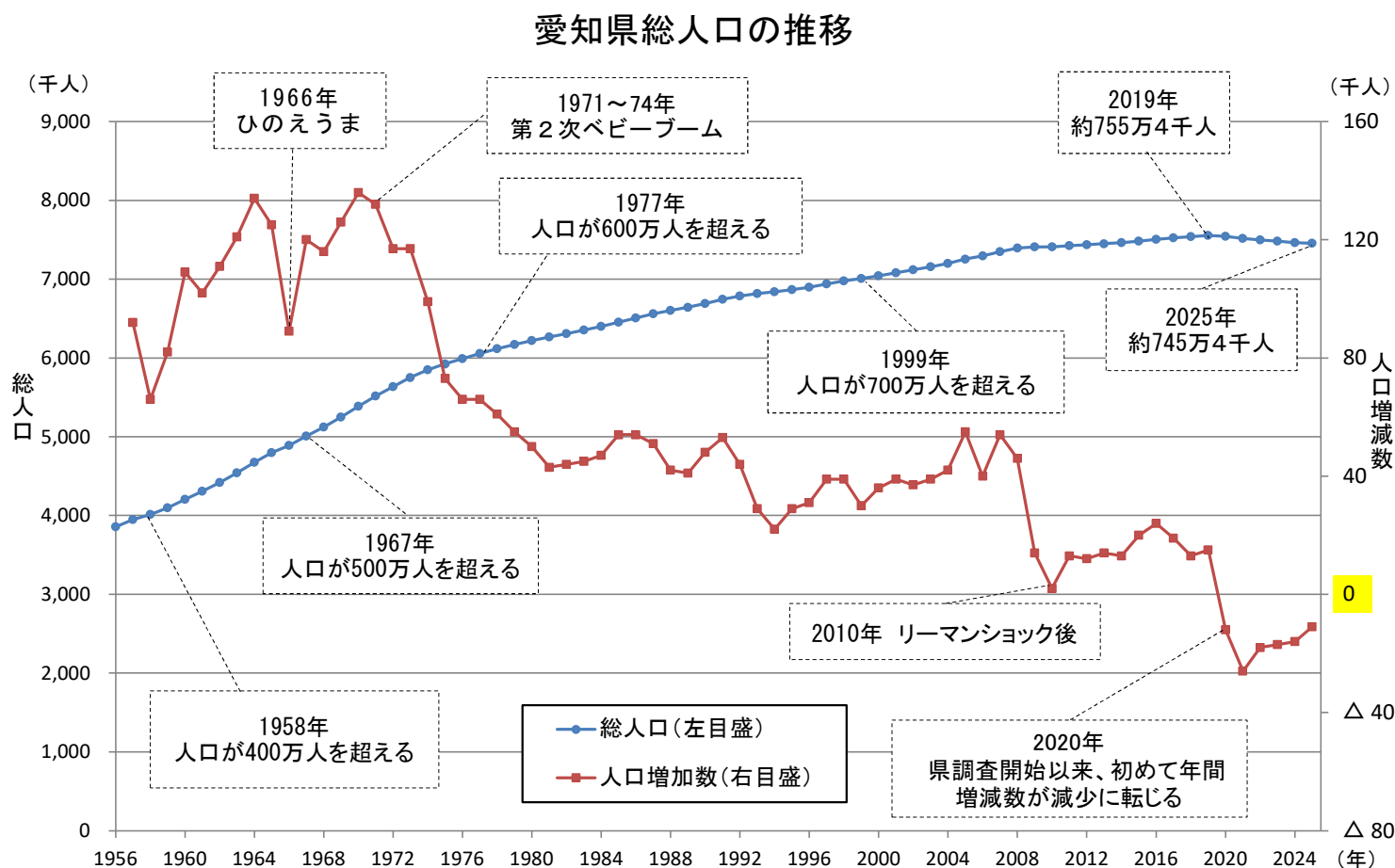


＜MICEを核とした国際観光都市のイメージ＞



IV 愛知県の当面する課題①（人口推移）

- その他にも、愛知には様々な当面する課題がある。
- **本県の人口は、2019年の約755万4千人をピークに2020年以降、減り続けている。**

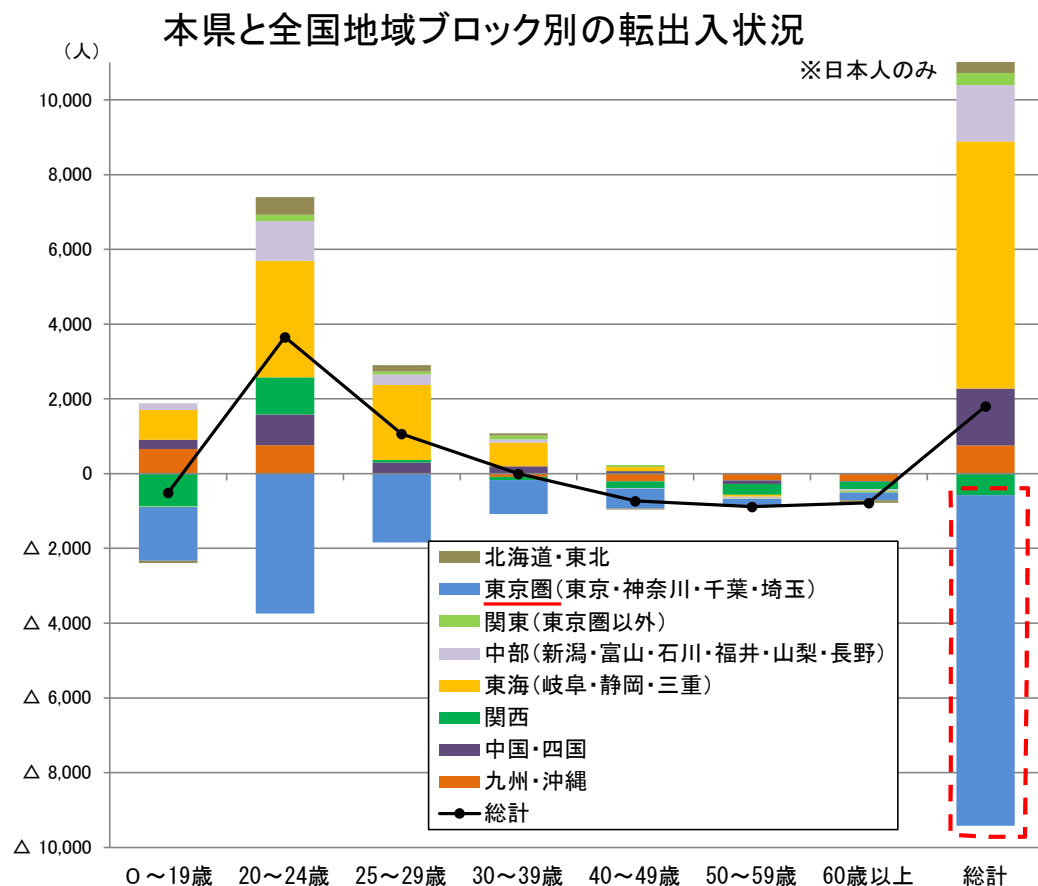


出典：愛知県「あいちの人口」

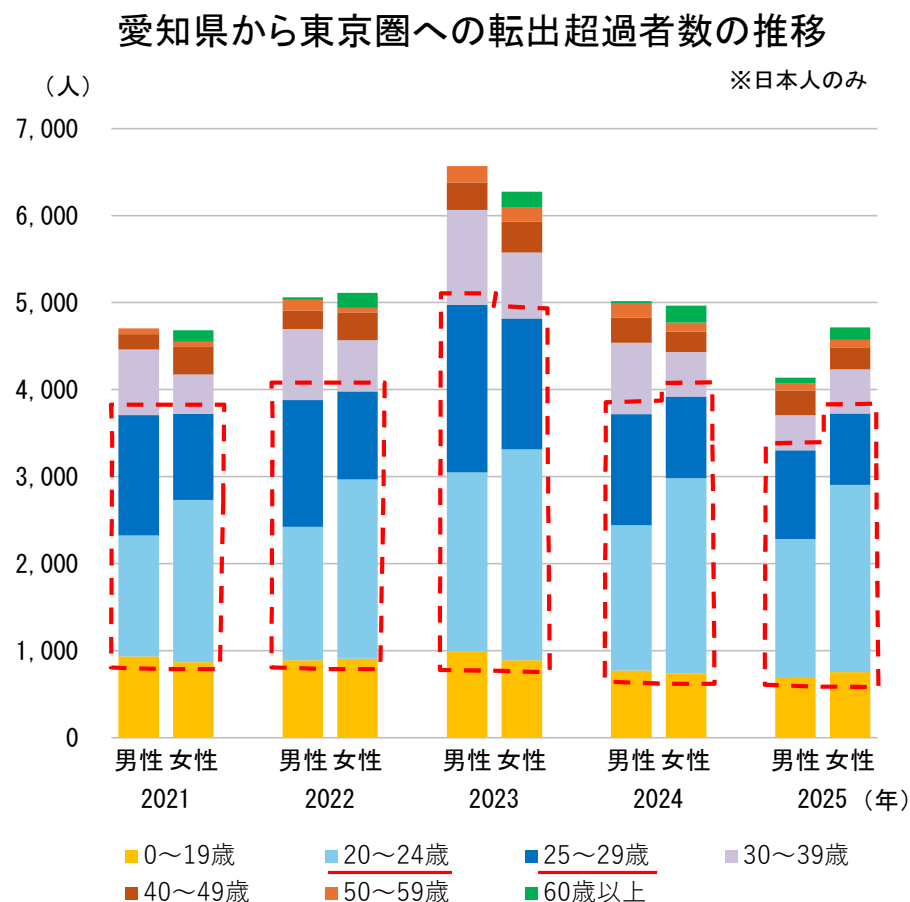
※総人口は各年10月1日現在、人口増加数は前年10月～当年9月

IV 愛知県の当面する課題②（人口転出入の状況）

- 2025年の**本県の転出入状況**は、転入超過となっている一方、転出状況を見ると、**大多数が東京圏に転出**している。
- 特に、**20歳代の転出が男女ともに多く**、大学卒業後の就職時に当たる20～24歳の転出超過数が最も大きくなっており、このままでは**東京圏への人口流出が加速するおそれがある**。



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」(2025年)に基づき愛知県作成

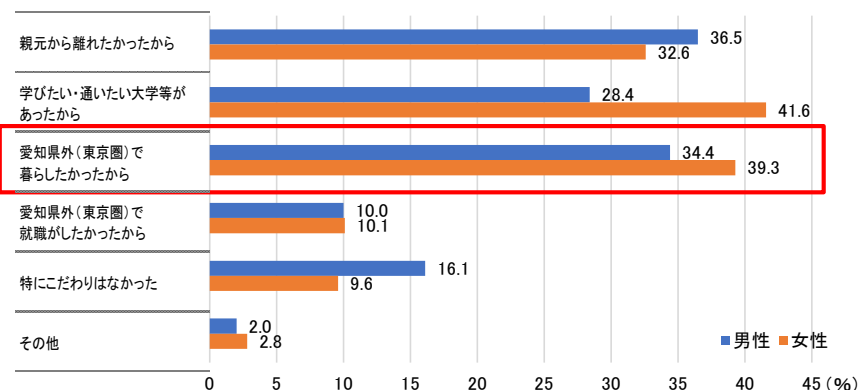


出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」(2021年-2025年)に基づき愛知県作成

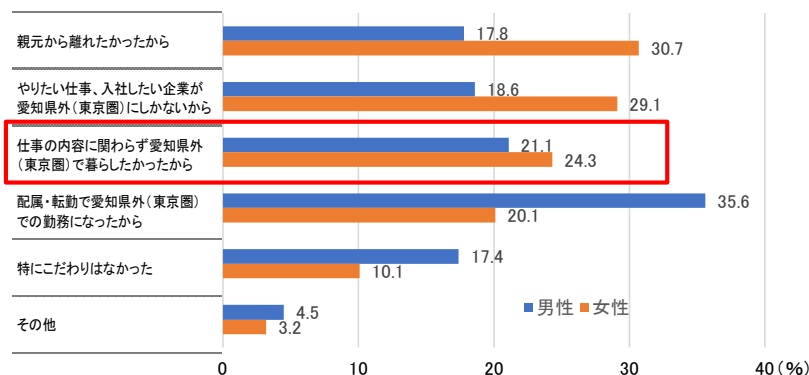
IV 愛知県の当面する課題③（東京圏への転出）

- 東京圏へ進学した理由、東京圏へ就職・転職した理由をみると、**男女ともに東京圏で暮らしたかったという理由が相当数存在する。**
- 2025年の「地域ブランド調査」における**都道府県の魅力度ランキング**では、**愛知県は16位で三大都市圏で下位。**
- 働く環境や文化芸術、娯楽の充実等、**愛知県の魅力を増進させ、人口流出に歯止めをかける**とともに、**国内外から人を呼び込んでいく必要がある。**

東京圏へ進学した理由



東京圏へ就職・転職した理由



都道府県の魅力度ランキング

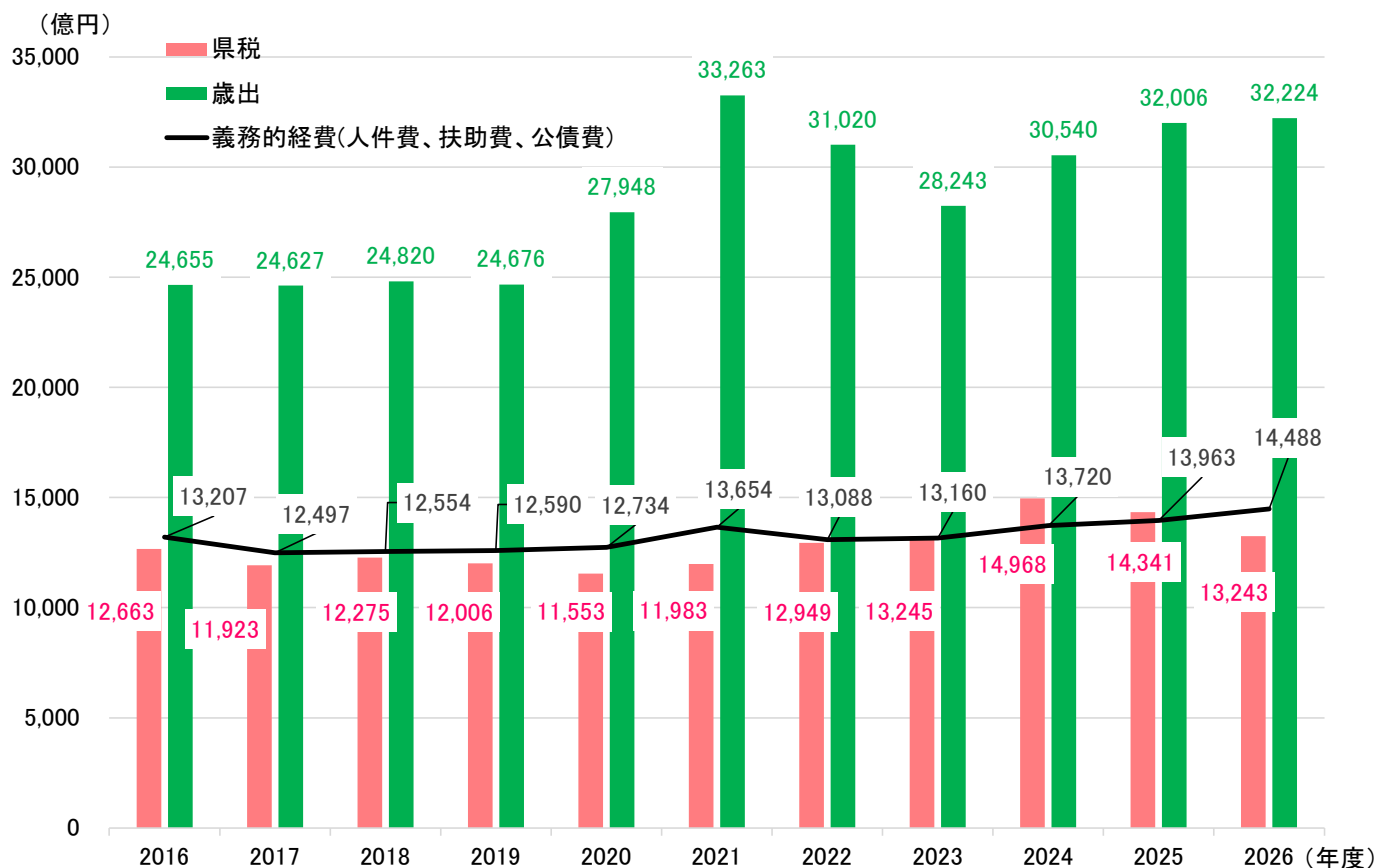
2025年	2024年	都道府県	魅力度(点)	
			2025年	2024年
1	(1)	北海道	70.7	(70.8)
2	(2)	京都府	52.6	(55.6)
3	(3)	沖縄県	48.6	(49.8)
4	(5)	神奈川県	43.1	(42.6)
5	(4)	東京都	42.1	(48.3)
6	(6)	福岡県	39.4	(42.0)
7	(8)	長野県	36.8	(34.9)
8	(7)	大阪府	35.6	(38.3)
9	(14)	奈良県	35.4	(31.1)
10	(11)	兵庫県	34.9	(33.3)
:				
16	(20)	愛知県	30.0	(26.5)

出典：株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査2025」
「地域ブランド調査2024」

IV 愛知県の当面する課題④（不安定かつ厳しい財政状況）

○ 一方、**本県の財政**は、義務的経費である医療・介護・子育てなどの扶助費、人件費の増加などから、近年、**多額の基金を取り崩して**、収支不足を解消した上で当初予算編成を行うなど**不安定かつ厳しい状況**が続いている。

本県の歳出規模と県税収入の推移



本県の基金取崩し額(当初予算編成時)

	基金取崩し額(億円)
2022年度	1,259
2023年度	1,424
2024年度	1,289
2025年度	2,296
2026年度	2,612

出典:愛知県「予算の概要」

IV 愛知県の当面する課題⑤（医療福祉施策の推進－1）

- こうした中でも、県民福祉の一層の向上のため、県民の命と健康を守る**医療福祉の施策は着実に推進**しなければならない。
- 特に、医療施策の推進には、**県立病院の機能強化が不可欠**である。
 - ・ 愛知県がんセンターの新築計画の推進
 - ・ あいち小児保健医療総合センターの機能強化の検討

新愛知県がんセンター整備基本計画(抜粋)2025年3月発表

・新規、強化・推進する病院機能

がん予防医療研究センター(仮称)の新設【新規】

がんゲノム医療の充実

治験・臨床試験の推進

難治がん・希少がん医療の集約化

放射線治療・薬物療法・手術療法の充実

細胞療法の充実・強化

緩和ケア病棟の新設【新規】

リハビリテーションの充実

相談・支援の充実・強化

・整備スケジュール(想定)

2028年度末頃	工事着工
2034年度	新病院棟オープン
2038年度	新研究棟オープン

現 愛知県がんセンター



現 あいち小児保健医療総合センター



IV 愛知県の当面する課題⑥（医療福祉施策の推進-2）

- さらに、**感染症対策、総合的な依存症対策、障害児者医療の充実**を推進し、地域における課題に的確に対応した**地域医療の充実**を図る必要がある。
- これらを集中的に、一気に進めていかなければならないが、本県の厳しい財政状況では、その**財源を一度に捻出**することは、**極めて難しい**。

- **感染症対策**
新興感染症発生時における医療提供体制の確保

- **総合的な依存症対策**
2026年4月に新設する県内2か所の依存症対策センター（藤田医科大学及び刈谷病院）を核にして、専門的な医療の提供のほか、多様な依存症に対応できる医師を養成するための寄附講座の開講などの人材育成、依存症に関する調査・研究や情報発信、若年者等への普及啓発など、総合的な依存症対策を推進

- **障害児者医療**
愛知県医療療育総合センター、青い鳥医療療育センター、三河青い鳥医療療育センター等の機能拡充など

V 国際観光都市の実現に向けて①

- 国内主要都市と比較して大きく水をあげられている観光誘客・MICE誘致を挽回し、世界中から人々を呼び込んでいく拠点として、国際観光都市を早急に実現する必要がある。
- 2017年8月に設置した「国際観光都市としての機能整備に関する研究会」から、中部国際空港エリアにおいて、MICEを核とした国際観光都市を実現する必要があること、この際、国が目指す日本型IRの活用を愛知県として検討を進めていくべきとの報告を2018年3月にいただき、以降、国際観光都市の実現に向けた必要な機能について調査研究を進めてきた。
- 今般、国において、統合型リゾート(IR)の申請期間を定める政令案のパブリックコメントが実施され、今後、国は2027年5月6日から2027年11月5日までの期間において、都道府県等からの申請を受け付ける予定であることが明らかになった。
- ついては、国の方針及び本県の状況を総合的に勘案して、統合型リゾート(IR)を整備することで、「MICEを核とした国際観光都市」を実現し、本県の経済や観光を活性化させることを目指すこととし、ひいては、若年層の東京圏等への人口流出に歯止めをかける契機としたいと考える。
- また、不安定かつ厳しい財政状況の中でも、県民福祉の一層の向上のため、その収益を県民の命と健康を守る医療福祉施策の強化を図るための安定的な財源として活用することができるかを検討したい。
- そこで、まずは事業実現の可能性について調査するため、関心のある民間事業者がいるかどうかを聞いてみることにし、そのための準備作業に着手する。

V 国際観光都市の実現に向けて②

- 統合型リゾート(IR)を整備し、「MICEを核とした国際観光都市」を実現することで、我が国を代表するスケールとクオリティを有するMICE施設や宿泊施設、アフターコンベンションにも資する多彩なエンターテインメント施設などが整備され、世界レベルのMICE開催地に相応しいエリアが形成されることが期待される。
- これにより、これまでにない国際的でハイレベルな会議や展示会、イベントを始め、多種多様なMICEを誘致・開催し、国内外からより多くの人を呼び込み、より大きな賑わいを創出することが期待される。

＜中部国際空港及びその周辺エリア＞



＜MICEを核とした国際観光都市のイメージ＞

